



## 各コントロールについて

- VOLUME** ディストーション回路のマスターボリュームとして機能します。
- PRES** ディストーション回路全体のトーンコントロールとして機能します。マスタートーンとして使用し、ペダルを明るめや暗めに合わせることができます。このコントロールを高くするとゲインが高くなり、全体的に明るいトーンになります。
- GAIN** ディストーション回路の最大ゲインを設定します。
- BASS** 低域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。
- MIDDLE** 中域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。中心周波数は 660Hz です。
- TREBLE** 高域を 12 時の位置から +/-12dB のブースト / カットを行う。
- VOL** オーバードライブ回路のマスター・ボリュームとして機能します。
- TONE** オーバードライブ回路のトーンを設定します。右に回すほど明るくなります。
- DRIVE** オーバードライブ回路の最大ゲインを設定します。
- DIST FOOTSWITCH** ディストーション回路を ON/OFF します。  
DIST フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、DIST LED が点滅し、クリッピング・プログラム・モードになります。その後 DIST フットスイッチを短押しすると、クリッピング・プリセットが切り替わり、プリセットサウンドを試すことができます。使用したいクリッピング・プリセットが決定したら、DIST フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、現在の設定が記憶され、クリッピング・プログラム・モードが終了します。

## DRIVE FOOTSWITCH

オーバードライブ回路を ON/OFF します。

DRIVE フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、DRIVE LED が点滅し、クリッピング・プログラム・モードになります。その後 DRIVE フットスイッチを短押しすると、クリッピング・プリセットが切り替わり、プリセットサウンドを試すことができます。使用したいクリッピング・プリセットが決定したら、DRIVE フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、現在の設定が記憶され、クリッピング・プログラム・モードが終了します。

## GAIN CYCLE

ゲインサイクル機能を使用するには DRIVE フットスイッチと BOOST フットスイッチを同時に押しします。フットスイッチを同時押しするたびに、ゲインは 25% から 100% になるまで 25% ずつ上がります。100% の次に押すと、ゲイン・サイクルは再び 25% から始まります。

## DISTORTION について

### DISTORTION の特徴

ASABI の初期搭載のディストーション・プラグインは MODERN HIGH GAIN と呼ばれ、Marshall JCM800 をベースにしたハイゲイン、ハードクリッピング回路です。このため、得られるトーンは非常にオープンでクリスピー、病みつきになるようなサウンドです。80 年代のハードロックからモダンなハイゲイン・トーンまで、奏でることができます。さらに、アナログ・ディストーション・プラグインにより、ペダルを買い換えることなく、歪み回路を完全に変更することができます。また、4 つの異なるクリッピング・ダイオードをプリセットすることができ、それ自体が歪みのクリップの仕方や音色を劇的に変化させます。

### TRUE ANALOG PLUG-IN

アナログ・ディストーション・プラグインにより、ペダルを買い換えることなく、歪み回路を完全に変更することができます。異なるプリセットをロードするソフトウェア・アップデートではなく、歪みペダルを構成するすべてのオペアンプ、トランジスタ、ダイオード、抵抗、コンデンサを含む完全なアナログ回路基板を交換することが可能です。この機能によりペダルを一度購入すれば、常に新しいモジュールでアップデートすることができます！

## クリッピングダイオードプリセットの変更

DIST フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、DIST LED が点滅し、クリッピング・プログラム・モードになります。その後 DIST フットスイッチを短押しすると、クリッピング・プリセットが切り替わり、プリセットサウンドを試すことができます。使用したいクリッピング・プリセットが決定したら、DIST フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、現在の設定が記憶され、クリッピング・プログラム・モードが終了します。各プリセットの詳細は下記をご参照ください。

**Preset 1**  
**AMBER LED** Guv'no Style. 2 つの LED を使用し、ギターの波形の上部と下部を均等にクリップします。LED はヘッドルームを非常に大きくするため、トーンはよりオープンに保たれ、ヴィンテージの Marshall のようなコンプレッションは少なくなります。

**Preset 2**  
**GREEN LED** 808 スタイル。2 つの対称シリコンダイオードが、808 で知られるクラシックなドライブとコンプレッションを与えます。

**Preset 3**  
**BLUE LED** ASYMMETRIC HIGH GAIN. 3 つの非対称ダイオード (2 つのシリコンと 1 つの LED) が、ギターの波形の上部と下部を異なるようにクリップし、より複雑で面白いトーンを生み出します。アグレッシブなリズム・パートに最適です！

**Preset 4**  
**MAGENTA LED** SYMMETRICAL HIGH GAIN. 4 つの対称シリコンダイオードが、ギターのトップとボトムをクリップします。ギターの波形の上部と下部を均等にクリップし、よりフォーカスされたダイレクトなトーンを生み出します。

本機はクリッピング・ダイオードを変更する際に、ペダルの出力をレベル・マッチングさせる回路を搭載しました。そのため、4 つのクリッピング・オプションを選択しても、音量レベルは一定に保たれます。つまり、クリッピング・モード間で聞こえる違いは、クリッピング・ダイオードのサウンドの違いによるものであり、他のデザインのように音量によるものではありません。

## GAIN CYCLE について

GAIN CYCLE は、GAIN ノブの現在の設定を 4 等分コントロールします。GAIN CYCLE の最後の #4 (100%) は、GAIN ノブの設定と同じゲインに設定されます。(GOLDEN BOY の GAIN ノブは最大ゲインで、各 GAIN CYCLE 設定はその最大値に対するパーセンテージだと考えてください。)

例えば 100% のゲインに設定されている場合は両方のフットスイッチを同時に押すたびに、ペダルのゲインは 100% になるまで 25% ずつ跳ね上がります。100% の次に押すと、ゲイン・サイクルは再び 25% から始まります。

### 使用例

(GAIN コントロールが 100% に設定されている場合)

Verse1 - ゲイン・サイクルを 25% に設定 - ブレイクアップ・トーンのややオーバードライブしたエッジ。

(GAIN CYCLE を押す)

Chorus - ゲイン・サイクルを 50% に設定 - 明確なオーバードライブ・トーン。

(GAIN CYCLE を押す)

Bridge - ゲイン・サイクルを 75% に設定 - 重めのオーバードライブ・トーン。

(GAIN CYCLE を押す)

Solo - ゲイン・サイクルを 100% に設定 - 重く飽和したオーバードライブ・トーン！

ヒント: BOOST を追加すると、オーバードライブをさらに強くッシュし、無限のサステインを得ることができます！

## GAIN CYCLE LED

DRIVE LED の明るさが変化し、選択したゲインのパーセンテージを知らせます。パーセンテージが高いほど、DRIVE LED は明るくなります。

GAIN CYCLE #1 - 消灯 - GAIN ノブ値の 25%。

GAIN CYCLE #2 - やや明るい - GAIN ノブ値の 50%。

GAIN CYCLE #3 - 明るい - GAIN ノブ値の 75%。

GAIN CYCLE #4 - 非常に明るい - GAIN ノブ値の 100%。

## 3 BAND EQUALIZER について

スタジオグレードの EQ が搭載され、驚異的な音色の柔軟性を実現しています。スタジオ EQ に搭載されている伝説的な Baxandall EQ をベースに、ギタリストが調節する必要のある全ての周波数に対応できるよう最適化調整しました。極端な設定にすると余計な高域と低域を除去し甘いトーンを奏でます。

## DRIVE について

### DRIVE の特徴

オーバードライブは、ディストーションをさらにクリッピングへと押し上げ、ミックスを完璧に通り抜けるような、センシティブなオーバードライブ回路を搭載しています。透明感を最大限に引き出すように設計された ASABI のオーバードライブは、中域などの不自然な突出がなく、周波数特性が完全にフラットに設定されています。さらに、アナログ・ディストーション・プラグインにより、ペダルを買い換えることなく、歪み回路を完全に変更することができます。また、4 つの異なるクリッピング・ダイオードをプリセットすることができます。それ自体が歪みのクリップの仕方や音色を劇的に変化させます。

## クリッピングダイオードプリセットの変更

DRIVE フットスイッチを 1 秒以上長押しすると、DRIVE LED が点滅し、クリッピング・プログラム・モードになります。その後 DRIVE フットスイッチを短押しすると、クリッピング・プリセットが切り替わり、プリセットサウンドを試すことができます。使用したいクリッピング・プリセットが決定したら、DRIVE フットスイッチを 1 秒以上押し続けると、現在の設定が記憶され、クリッピング・プログラム・モードが終了します。各プリセットの詳細は下記をご参照ください。

**Preset 1**  
AMBER LED  
ヴィンテージ・マーシャル 2 つの RED LED は、ギター  
の波形の上部と下部を均等にクリップするために使用され  
ます。この LED によりヘッドルームが非常に広くなり、  
ヴィンテージ・マーシャルと同様にコンプレッションが  
少なく、オープンなトーンを維持できます。

**Preset 2**  
GREEN LED  
クラシック・スクリーマー。左右対称の 2 つのシリコン・  
ダイオードが、Tube Screamer の特徴であるクラシッ  
クなドライブとコンプレッションを生み出します。

**Preset 3**  
BLUE LED  
非対称クリッピング。3 つの非対称ダイオード (2 つの  
シリコンと 1 つの赤色 LED) が、ギター  
の波形の上部と下部をクリップします。ギター  
の波形が異なるため、より複雑で面白いトーン  
になります。アグレッシブなリズム・パートを  
刻むのに最適なサウンドです！

**Preset 4**  
MAGENTA LED  
シンメトリカル・クリッピング。4 つの対称シリコン・  
ダイオードが、ギター  
の波形の上部と下部を均等にクリップし、より  
フォーカスされたダイレクトなトーンを実現し  
ます。このスタイルのクリッピングを採用した  
2 つの著名なペダルは、Timmy と King of Tone  
です。

## MIDI 機能

本機は、クリッピングプリセット、ゲインサイクル、ブースト EQ、  
そしてオーバードライブ・ブースト回路の ON/OFF を MIDI でコン  
トロールできます。

### 使用ケーブル

本機で MIDI を使用するには、MIDI (DIN-5) コネクターを TRS ケー  
ブルに変換する 6.35mm (1/4" ) TRS Type A 仕様ケーブルが必要  
です。

## MIDI チャンネルの変更

工場出荷状態では、MIDI チャンネル 1 が選択された状態です。変  
更するには、電源を入れながら、DIST フットスイッチを押し続け、  
フットスイッチを押したまま、DRIVE フットスイッチを押すと  
MIDI チャンネル番号が一つづつ増えます。

LED が点滅し、選択した MIDI チャンネルを示します。(例: 7 回点  
滅 = MIDI チャンネル 7)。LED が点滅した後、LED の点滅が終  
わったことが分かるように、2 秒間のポーズを挿入しました。LED は  
DIST フットスイッチを押している限り点滅、停止を続けます。希  
望の MIDI チャンネルを選択し、点滅を数えて確認したら、DIST フ  
ットスイッチを離すだけで、ペダルはこの MIDI チャンネルを保存し、  
再起動します。

## コントロール・チェンジ (CC)

MIDI 機能へのアクセスは、コントロール・チェンジ (CC) で行い  
ます。以下は、MIDI でアクセスできる機能とそのアクセス方法の  
リストです。

CC #1 – DIST ON/OFF  
(value of 127 = ON value of 0 = OFF)

CC #2 – DRIVE ON/OFF  
(value of 127 = ON value of 0 = OFF)

CC #3 – DISTORTION CLIPPING PRESETS  
(value of 1 = Guv'nor Style)  
(value of 2 = 808 Style)  
(value of 3 = Asymmetric High Gain)  
(value of 4 = Symmetric High Gain)

CC #4 – GAIN CYCLE  
(value of 1 = 25% GAIN)  
(value of 2 = 50% GAIN)  
(value of 3 = 75% GAIN)  
(value of 4 = 100% GAIN)

CC #5 – OVERDRIVE CLIPPING PRESETS  
(value of 1 = Vintage Marshall Style)  
(value of 2 = Tube Screamer Style)  
(value of 3 = Timmy Style)  
(value of 4 = King of Tone Style)